

〈全国47都道府県14,100人が対象！パラック『のど痛県大調査』実施〉

『のど痛県』ランキング第1位は「福岡県」。

「のどを痛めやすい体質だと思う」と回答した人の割合が最も高い結果に
～2位には「岐阜県」、3位には「大阪府」がランクイン～

第一三共ヘルスケア株式会社(本社:東京都中央区)は、全国47都道府県14,100人に、パラック『のど痛県大調査』と題してのどの痛みに関する調査を行いました。その結果、本調査から「福岡県」が「のどを痛めやすい体質だと思う」と回答した人の割合※が最も高いことが分かりました。次いで、2番目に「のどを痛めやすい体質だと思う」と回答した人の割合が高かった都道府県は「岐阜県」となり、3番目は「大阪府」という結果となりました。

※「自身がのどを痛めやすい体質だと思いますか」の問いに「あてはまる」「どちらかと言えばあてはまる」と回答した人の割合

TOPIC1

「のどを痛めやすい体質だと思う」と回答した人が最も多いのは「福岡県」。

- ◆福岡県の回答者全体の56.3%の人が「のどを痛めやすい体質だと思う」と回答し、全都道府県の中でトップに。
- ◆中でも福岡県の20代男性と30代女性に関しては、3人に2人が「のどを痛めやすい体質だと思う」と回答。

TOPIC2

『のど痛県大調査』、2位は「岐阜県」。3位には「大阪府」がランクイン。

- ◆岐阜県の回答者全体の55.7%が「のどを痛めやすい体質だと思う」と答え、全都道府県の中で2番目に。
- ◆岐阜県の30代男性に関しては、76.7%が「のどを痛めやすい体質だと思う」と回答。各都道府県の性年代別で比較すると全国トップの数値となっている。
- ◆大阪府の回答者全体の55.0%が「のどを痛めやすい体質だと思う」と答え、大阪府が3位にランクイン。

— 調査概要 —

- 調査名称:パラック『のど痛県大調査』
- 調査委託先:楽天インサイト株式会社
- 実施時期:2023年1月20日(金)～1月23日(月) ■調査方法:インターネット調査
- 調査対象:全国20～60代の男女14,100人(性年代別均等割付)

※図の構成比(%)は小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が必ずしも100%にならない場合があります。

TOPIC1

「のどを痛めやすい体質だと思う」と回答した人が最も多いのは「福岡県」。

- ◆福岡県の回答者全体の半数以上が「のどを痛めやすい体質だと思う」と回答し、全都道府県の中でトップに。
- ◆中でも福岡県の20代男性と30代女性に関しては、3人に2人が「のどを痛めやすい体質だと思う」と回答。

全国47都道府県14,100人を対象にペラック『のど痛県大調査』を実施いたしました。のどを痛めやすい体質だと思うかを問う質問に対して、「あてはまる」「どちらかと言えばあてはまる」「どちらかと言えばあてはまらない」「あてはまらない」「どちらとも言えない・わからない」のいずれかに回答し、「あてはまる」「どちらかと言えばあてはまる」と回答した人を「のどを痛めやすい体質だと思っている人」として、その割合をもとにランキングを発表しています。

全体の調査結果としては、「福岡県」の半数以上である56.3%が「のどを痛めやすい体質だと思っている人」となり、ペラック『のど痛県大調査』で全国1位となりました。一方、「のどを痛めやすい体質だと思っている人」が最も少なかった都道府県は「北海道」(43.3%)でした【図表1】。

【図表1】ペラック『のど痛県大調査』調査結果（47都道府県） n=14,100

〈全国平均〉50.6%
 （「のどを痛めやすい体質だと思うか」を問う質問に対して「あてはまる」「どちらかと言えばあてはまる」と回答した人の割合）

第1位～第3位

① 福岡県(56.3%)

② 岐阜県(55.7%)

③ 大阪府(55.0%)

第45位～第47位

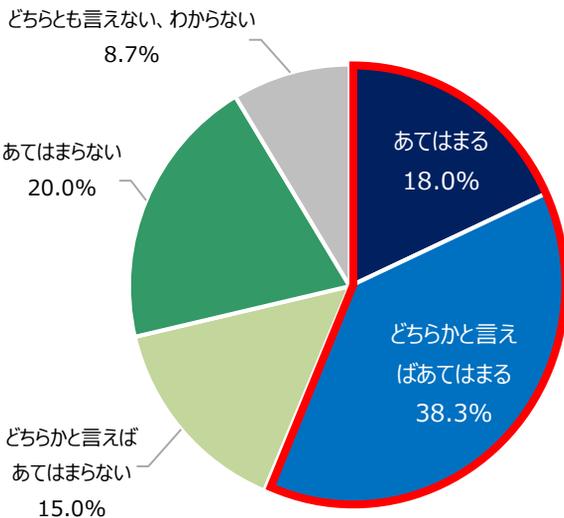
④5 千葉県(46.3%)

④6 石川県(46.3%)

④7 北海道(43.3%)

ランキングで1位となった「福岡県」では、福岡県の回答者全体の半数以上(56.3%)が、「のどを痛めやすい体質だとう人」となりました【図表2】。性年代別でみると、福岡県の20代男性と30代女性に関しては、「のどを痛めやすい体質だと思うか」という質問に対し、3人に2人が「あてはまる」「どちらかと言えばあてはまる」と回答しています【図表3】。

【図表2】ペラック『のど痛県大調査』調査結果（福岡） n=300



〈全国平均〉50.6%

福岡県の回答者全体の半数以上(56.3%)がのどを痛めやすい体質だと思っている(あてはまる+どちらかと言えばあてはまる)

〈20代男性 全国平均〉49.9%
 〈30代女性 全国平均〉58.4%

【図表3】性年代別（福岡）× 第1位～第3位 n=各30

- ① 30代女性(70.0%)
- ② 20代男性(66.7%)
- ③ 50代女性(63.3%)

TOPIC2

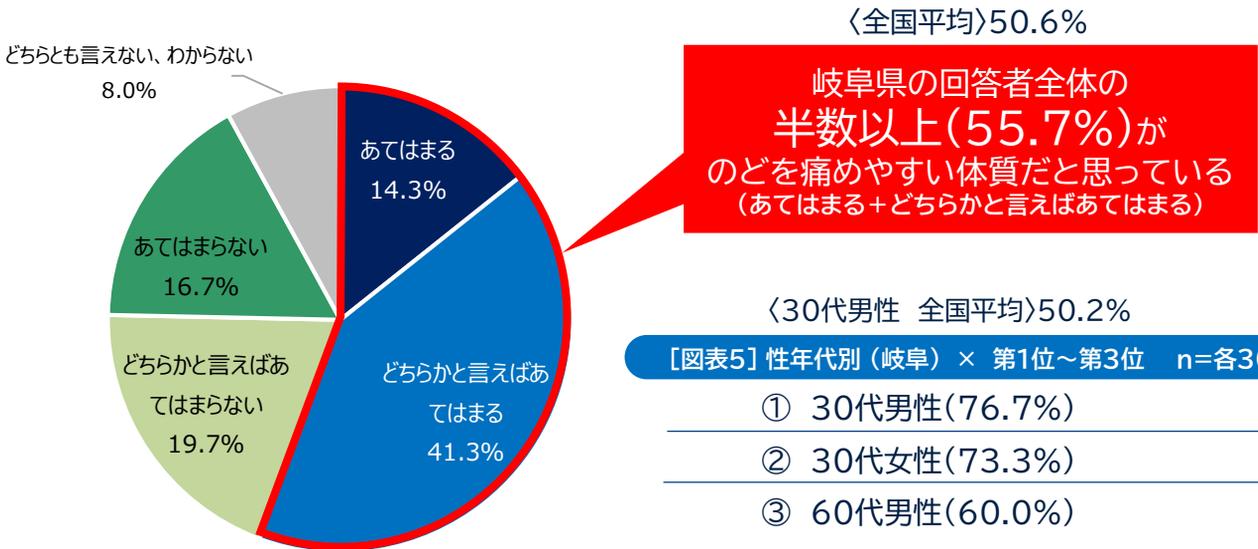
『のど痛県大調査』、2位は「岐阜県」。3位には「大阪府」がランクイン。

- ◆岐阜県の回答者全体の55.7%が「のどを痛めやすい体質だと思う」と答え、全都道府県の中で2番目に。
- ◆岐阜県の30代男性に関しては、76.7%が「のどを痛めやすい体質だと思う」と回答。各都道府県の30代男性で比較すると全国トップの数値となっている。
- ◆大阪府の回答者全体の55.0%が「のどを痛めやすい体質だと思う」と答え、大阪府が3位にランクイン。

ペラック『のど痛県大調査』で1位となった「福岡県」に次ぎ、2番目にのどを痛めやすい体質だと思う人が多いのは「岐阜県」で、「のどを痛めやすい体質だと思うか」という質問に対し、55.7%の人が「あてはまる」「どちらかと言えばあてはまる」と回答しました【図表4】。

また、岐阜県の30代男性に関しては、76.7%が「あてはまる」「どちらかと言えばあてはまる」と回答し、各都道府県の30代男性で比較すると全国トップの数値となりました【図表5】。

【図表4】ペラック『のど痛県大調査』調査結果（岐阜） n=300

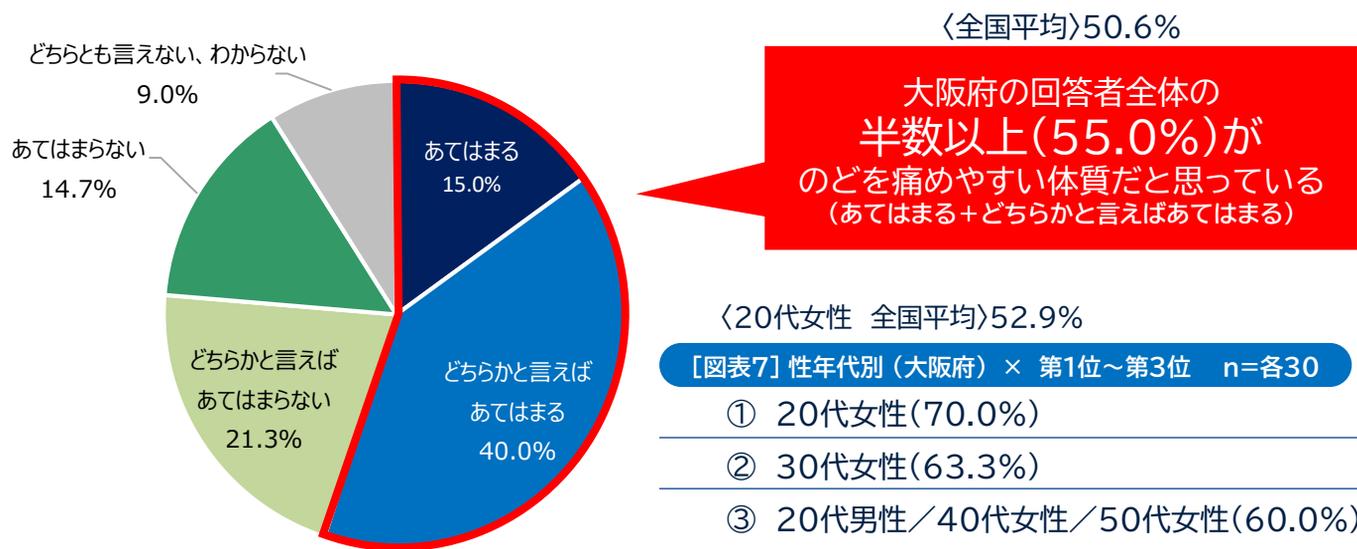


【図表5】性年代別（岐阜）× 第1位～第3位 n=各30

- ① 30代男性(76.7%)
- ② 30代女性(73.3%)
- ③ 60代男性(60.0%)

3位となったのは「大阪府」で、大阪府の回答者全体の55.0%が「のどを痛めやすい体質だと思う」「どちらかと言えばのどを痛めやすい体質だと思う」と回答しました【図表6】。また、大阪府の20代女性に関しては、70.0%が「あてはまる」「どちらかといえあてはまる」と回答しました【図表7】。

【図表6】ペラック『のど痛県大調査』調査結果（大阪） n=300



【図表7】性年代別（大阪府）× 第1位～第3位 n=各30

- ① 20代女性(70.0%)
- ② 30代女性(63.3%)
- ③ 20代男性/40代女性/50代女性(60.0%)

のどの痛み治療薬「ペラックTシリーズ」について

「ペラックTシリーズ」は、炎症やアレルギーをおさえる作用のあるトラネキサム酸、カンゾウ乾燥エキスに加え、タンパク質や脂質の代謝に関与し、皮膚や粘膜の機能を正常にはたかせるビタミンB2、ビタミンB6とビタミンCの3種のビタミンを配合した薬です。空気の乾燥・汚れやかぜなどからくる咽頭炎・扁桃炎(のどの痛み、のどのはれ)によく効き、7歳の小児から服用できる※薬です。

※ペラックT錠 7歳以上15歳未満 1回1錠1日3回服用 (15歳以上 1回2錠1日3回服用)
 ※ペラックT細粒クール 7歳以上15歳未満 1回1/2包1日3回服用 (15歳以上 1日1包1日3回服用)

(左)ペラックT錠
 (右)ペラックT細粒クール

第3類医薬品

咽頭炎・扁桃炎(のどの痛み、のどのはれ)、口内炎



ペラック『のど痛県大調査』について

のどの痛みに、薬を飲んで治すという提案をしてきたペラックが、「のどを痛めやすい体質だと思う」人が多い都道府県はどこか、14,100人の大調査を実施いたしました。この結果は、12月20日(水)よりペラック『のど痛県大調査』の公式WEBサイトにて公開しています。

また今回、ペラックのCMキャラクターを務める声優の花江夏樹さんご本人のナレーションで、『のど痛県大調査』をナビゲートしています。

■ペラック『のど痛県大調査』の公式WEBサイト：https://www.daiichisankyo-hc.co.jp/site_pelack/research/

第一三共ヘルスケアについて

第一三共ヘルスケアは、第一三共グループ*の企業理念にある「多様な医療ニーズに応える医薬品を提供する」という考えのもと、生活者自らが選択し、購入できるOTC医薬品の事業を展開しています。

現在、OTC医薬品にとどまらず、機能性スキンケア・オーラルケア・食品へと事業領域を拡張し、コーポレートスローガン「Fit for You 健やかなライフスタイルをつくるパートナーへ」を掲げ、その実現に向けて取り組んでいます。

こうした事業を通じて、自分自身で健康を守り対処する「セルフケア」を推進し、誰もがより健康で美しくあり続けることのできる社会の実現に貢献します。

* 第一三共グループは、イノバティブ医薬品(新薬)・ジェネリック医薬品・ワクチン・OTC医薬品の事業を展開しています。